

平成30年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年12月5日

 上場会社名 株式会社 アインホールディングス
 コード番号 9627 URL <http://www.ainj.co.jp/>

上場取引所 東 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 喜一

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 水島 利英

TEL 011-814-1000

四半期報告書提出予定日 平成29年12月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年4月期第2四半期の連結業績(平成29年5月1日～平成29年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第2四半期	132,342	13.3	8,367	65.7	8,665	62.1	4,418	54.7
29年4月期第2四半期	116,844	9.3	5,049	14.4	5,346	12.1	2,855	13.3

(注) 包括利益 30年4月期第2四半期 4,422百万円 (52.2%) 29年4月期第2四半期 2,905百万円 (11.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第2四半期	134.91	
29年4月期第2四半期	90.07	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年4月期第2四半期	180,537	90,779	50.2	2,560.59
29年4月期	156,323	60,178	38.4	1,895.63

(参考) 自己資本 30年4月期第2四半期 90,715百万円 29年4月期 60,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期		0.00		50.00	50.00
30年4月期		0.00			
30年4月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年4月期の連結業績予想(平成29年5月1日～平成30年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	267,500	7.8	18,000	23.6	18,500	22.7	9,200	15.7	269.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成29年12月5日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

1株当たり当期純利益は、公募(2,820,000株)、第三者割当(270,000株)及びオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当(450,000株)による新株式発行を考慮し算出しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年4月期2Q	35,428,212 株	29年4月期	31,888,212 株
30年4月期2Q	688 株	29年4月期	180,644 株
30年4月期2Q	32,753,470 株	29年4月期2Q	31,707,568 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年5月1日～平成29年10月31日)におけるわが国の経済は、個人消費が緩やかに持ち直すとともに、設備投資にも持ち直しの動きがみられ、企業収益は改善しております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局の新規出店、M&A及び都市型ドラッグストア事業の推進による事業拡大とともに、総額276億円の公募増資及び第三者割当増資等を実施し、財務体質の強化に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高が1,323億4千2百万円(前年同期比13.3%増)、営業利益は83億6千7百万円(同65.7%増)、経常利益は86億6千5百万円(同62.1%増)となり、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は44億1千8百万円(同54.7%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(医薬事業)

調剤薬局部門の既存店売上高は、処方箋1枚当たりの売上高の上昇により、増収傾向で推移しております。

当社グループでは、引き続き、「かかりつけ薬剤師・薬局」としての機能を発揮すべく、在宅対応を中心とした地域医療との連携、お薬手帳等を活用した薬剤に関する情報の一元的・継続的管理の強化及びジェネリック医薬品の使用を促進しております。

営業開発においては、調剤薬局の新規出店及びM&Aを活用し、事業規模の拡大を推進しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,179億9千1百万円(前年同期比13.1%増)、セグメント利益は97億2百万円(同29.5%増)と増収増益となりました。

同期間の出店状況は、M&Aを含め、グループ全体で合計18店舗を出店し、39店舗の閉店により、当社グループにおける薬局総数は1,045店舗となりました。

(物販事業)

ドラッグストア事業は、同業間による同質化競争、業種間を超えた統合・再編による競合により、なお厳しい市場環境が続いております。

当社グループでは、このような環境において、都市型ドラッグストア「アインズ&トルペ」の出店を継続的に実施するとともに、既存店の改装及び関連商品を中心とするMDの強化による集客力向上に努めております。また、「リップス&ヒップス」及び「ココデシカ」を始めとするオリジナルブランドの積極的な展開に加え、全般的な仕入れの見直しにより粗利率が向上しており、業務効率化の推進によるコスト低減と相まって、収益は改善しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、115億6千6百万円(前年同期比12.4%増)、セグメント利益は1億6千3百万円(前年同期は3億8千4百万円の損失)となりました。

同期間の出店状況は、アインズ&トルペ 小田急百貨店町田店(東京都町田市)を出店し、3店舗を閉店したことで、ドラッグストア店舗総数は50店舗となりました。

(その他の事業)

その他の事業における売上高は27億8千4百万円(前年同期比23.3%増)、セグメント損失は3億3千万円(前年同期は8億2千6百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より242億1千3百万円増の1,805億3千7百万円となりました。主な要因は、公募増資及び第三者割当増資に伴う現預金の増加によるものであります。

負債の残高は、63億8千6百万円減の897億5千7百万円となりました。

短期及び長期借入金の残高は、37億8千5百万円減となる220億6千6百万円となりました。

純資産の残高は、306億円増の907億7千9百万円となり、自己資本比率は11.8ポイント増加となる50.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ273億7千6百万円増の566億1千1百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益81億4百万円、減価償却費17億3千5百万円、のれん償却額19億8千3百万円を主な収入要因として、また、法人税の支払額29億1千9百万円を主な支出要因として、68億8千6百万円の収入(前年同期は60億9千万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出12億4千7百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出4億1千8百万円を主な要因として、12億7千9百万円の支出(前年同期は30億5千3百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、公募増資及び第三者割当増資等に伴う株式の発行ならびに自己株式の売却による収入276億3千5百万円を主な調達要因として、また、短期及び長期の借入れと返済の差額が39億1千4百万円の返済となり、配当金の支払額15億8千5百万円を主な支出要因として、217億6千9百万円の調達(前年同期は26億1千6百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月6日に公表いたしました平成30年4月期の通期連結業績予想を修正しております。なお、詳細につきましては、本日(平成29年12月5日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,775,207	57,059,319
受取手形及び売掛金	9,990,401	10,250,566
商品	11,402,078	12,090,161
貯蔵品	266,095	247,292
繰延税金資産	1,166,620	1,300,403
短期貸付金	632,826	658,258
未収入金	9,402,024	8,151,376
その他	2,829,934	1,995,410
貸倒引当金	△44,443	△41,276
流動資産合計	65,420,745	91,711,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,365,264	15,180,415
土地	9,958,446	9,784,632
その他(純額)	3,140,296	2,966,669
有形固定資産合計	28,464,007	27,931,717
無形固定資産		
のれん	40,939,448	39,494,994
その他	2,170,041	2,074,133
無形固定資産合計	43,109,490	41,569,128
投資その他の資産		
投資有価証券	2,435,333	2,438,270
繰延税金資産	2,167,711	2,071,405
敷金及び保証金	10,443,221	10,697,828
その他	4,595,122	4,301,282
貸倒引当金	△312,044	△309,320
投資その他の資産合計	19,329,345	19,199,467
固定資産合計	90,902,843	88,700,313
繰延資産	-	125,322
資産合計	156,323,588	180,537,148

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	39,325,588	40,326,124
短期借入金	7,596,939	7,457,957
未払法人税等	2,898,695	3,724,475
預り金	14,223,768	12,179,679
賞与引当金	1,903,976	2,219,855
役員賞与引当金	16,090	16,583
ポイント引当金	410,502	426,675
返品調整引当金	14,165	8,667
その他	6,566,001	3,925,423
流動負債合計	72,955,729	70,285,441
固定負債		
長期借入金	18,254,657	14,608,637
退職給付に係る負債	2,331,956	2,389,143
その他	2,602,261	2,474,513
固定負債合計	23,188,874	19,472,293
負債合計	96,144,603	89,757,734
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,682,976	21,894,976
資本剰余金	6,367,844	20,500,942
利益剰余金	45,286,878	48,120,163
自己株式	△419,598	△1,869
株主資本合計	59,918,101	90,514,213
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,407	122,014
退職給付に係る調整累計額	101,414	79,277
その他の包括利益累計額合計	187,821	201,291
非支配株主持分	73,061	63,907
純資産合計	60,178,984	90,779,413
負債純資産合計	156,323,588	180,537,148

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
売上高	116,844,279	132,342,060
売上原価	98,479,207	109,951,792
売上総利益	18,365,071	22,390,268
販売費及び一般管理費	13,315,707	14,022,892
営業利益	5,049,363	8,367,376
営業外収益		
受取利息	36,813	34,347
受取配当金	23,716	21,588
受取手数料	17,426	34,023
不動産賃貸料	106,635	111,121
業務受託料	69,839	96,280
受取補償金	39,408	-
その他	172,802	180,429
営業外収益合計	466,643	477,792
営業外費用		
支払利息	64,126	64,881
債権売却損	31,928	34,469
不動産賃貸費用	44,250	50,583
その他	29,363	29,553
営業外費用合計	169,668	179,487
経常利益	5,346,338	8,665,681
特別利益		
投資有価証券売却益	150,537	5,560
固定資産売却益	5,824	22,095
保険解約返戻金	50,612	31,712
その他	28,118	38,377
特別利益合計	235,093	97,745
特別損失		
固定資産除売却損	241,243	301,336
減損損失	6,820	121,691
その他	34,586	236,188
特別損失合計	282,651	659,215
税金等調整前四半期純利益	5,298,780	8,104,211
法人税等	2,453,028	3,694,701
四半期純利益	2,845,752	4,409,510
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,080	△9,153
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,855,832	4,418,663

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
四半期純利益	2,845,752	4,409,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76,519	35,607
退職給付に係る調整額	△16,342	△22,136
その他の包括利益合計	60,177	13,470
四半期包括利益	2,905,929	4,422,980
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,916,010	4,432,134
非支配株主に係る四半期包括利益	△10,080	△9,153

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,298,780	8,104,211
減価償却費	1,753,206	1,735,310
のれん償却額	1,660,995	1,983,588
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	89,011	29,447
賞与引当金の増減額(△は減少)	341,968	313,988
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	2,355	493
受取利息及び受取配当金	△60,530	△55,936
支払利息	64,126	64,881
固定資産除売却損益(△は益)	235,419	279,240
売上債権の増減額(△は増加)	5,733,772	△92,561
たな卸資産の増減額(△は増加)	△651,501	△583,738
未収入金の増減額(△は増加)	△1,525,211	1,265,071
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,918,279	806,519
その他	741,923	△4,039,117
小計	10,766,036	9,811,400
利息及び配当金の受取額	56,772	59,582
利息の支払額	△64,981	△64,898
法人税等の支払額	△4,666,987	△2,919,922
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,090,841	6,886,162
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,544,246	△1,247,435
有形及び無形固定資産の売却による収入	304,258	221,941
投資有価証券の取得による支出	△210	△50,180
投資有価証券の売却による収入	339,729	61,409
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,293,087	△418,229
貸付けによる支出	△60,001	△204,788
貸付金の回収による収入	60,321	250,666
定期預金の預入による支出	△43,430	△36,900
定期預金の払戻による収入	235,706	157,126
その他	△52,604	△13,194
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,053,564	△1,279,584
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,257,210	178,543
長期借入れによる収入	50,000	-
長期借入金の返済による支出	△3,280,231	△4,092,617
リース債務の返済による支出	△375,300	△366,020
株式の発行による収入	-	26,296,379
自己株式の取得による支出	△286	△373
自己株式の売却による収入	-	1,339,200
配当金の支払額	△1,268,304	△1,585,378
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,616,913	21,769,732
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	420,363	27,376,309
現金及び現金同等物の期首残高	21,892,179	29,234,757
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,312,543	56,611,067

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年9月6日を払込期日とする公募増資、公募による自己株式の処分及び第三者割当増資ならびに平成29年10月3日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連して行う第三者割当増資を実施しております。これにより、当第2四半期連結累計期間において資本金が13,212,000千円、資本剰余金が14,133,097千円それぞれ増加し、自己株式が418,102千円減少した結果、第2四半期連結会計期間末において資本金が21,894,976千円、資本剰余金が20,500,942千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年5月1日至平成28年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	104,297,439	10,288,333	2,258,506	116,844,279	-	116,844,279
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	188,175	188,175	△188,175	-
計	104,297,439	10,288,333	2,446,682	117,032,454	△188,175	116,844,279
セグメント利益又は損失(△)	7,494,180	△384,611	△826,383	6,283,186	△936,847	5,346,338

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△936,847千円には、全社費用が1,696,461千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が△735,544千円、セグメント間取引消去が△24,070千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬事業」セグメントにおいて、調剤薬局事業会社9社を買収しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,885,934千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年5月1日至平成29年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	117,991,104	11,566,577	2,784,378	132,342,060	-	132,342,060
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	165,376	165,376	△165,376	-
計	117,991,104	11,566,577	2,949,755	132,507,437	△165,376	132,342,060
セグメント利益又は損失(△)	9,702,489	163,352	△330,774	9,535,067	△869,386	8,665,681

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△869,386千円には、全社費用が1,765,602千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が△884,382千円、セグメント間取引消去が△11,834千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬事業」セグメントにおいて、調剤薬局事業会社4社を買収しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては569,252千円であります。